

第3章

学習指導のポイント

ねらい

実際に出題した調査問題をもとに、児童生徒の解答状況や各種分析、学習指導のポイントをまとめました。

各学校において、今後の授業等を見直す際の参考として、お役立てください。

活用方法

今後の授業改善、年間指導計画や学習指導案の作成、校内研修会の資料などとして活用いただけます。

学習指導のポイントの見方

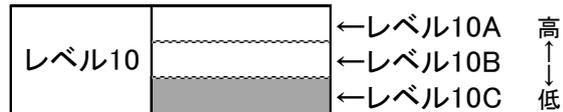
○ 調査問題

- ・ 実際に出題された調査問題を掲載しています。
 - ・ 調査問題ごとに学力のレベルを表示しています。
- (例) レベル 10-C

【本報告書上の記載】

問題の学力のレベル
レベル 10-C

【個人結果票上の記載】



(↑ P25~27 の学力レベルと同じレベルを表します。)

※ 当該レベルの児童生徒であれば、およそ 70%の確率で正答できることを表します。

○ 調査問題の趣旨・内容

- ・ 調査問題ごとのねらいや、作成の趣旨を記載しています。

○ 誤答分析

- ・ 誤答について、解答類型を中心に分析した内容を記載しています。

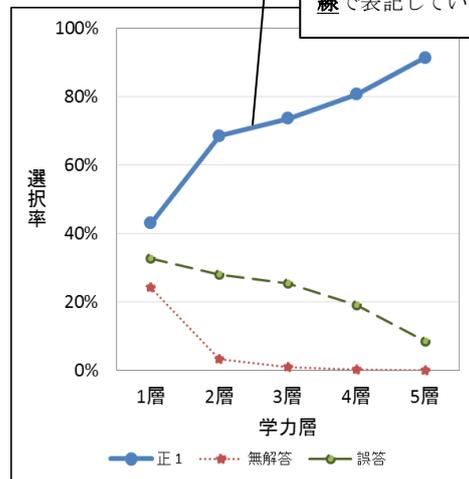
○ G - P 分析

G-P 分析表は、学力に応じて児童生徒を 5 段階に区分し、段階（学力層）ごとにどのような解答類型を選択しているかをグラフ化したものです。

学力層によって、問題への解答状況が異なることは、児童生徒の理解の様子を反映していると考えられますので、指導の参考として掲載しました。

例えば、右の図では、児童生徒の学力層が 1 層から 5 層に上がるにつれて正答（図中の太線「正 1」）を選択した割合が高くなり、逆に下位層では誤答や無解答の割合が上位層よりも高いことがわかります。

【G-P 分析表】



本報告書では正答を太線で表記しています。

※ 学力層は 1 層⇒ 5 層の順に高くなります。

○ 指導上の改善ポイント

- ・ 誤答分析や G-P 分析などを踏まえ、指導改善の視点や授業展開、活動例などの例を掲載しています。
- ・ 改善を行う際の「アクティブ・ラーニングの視点」も記載しています。